

～京都市障害者就労支援推進会議通信～

本市では、国、京都府の関係行政から民間まで、企業、労働、福祉、教育等の各分野の関係機関及び団体等と連携して、障害のある方が生きがいを持って働くことができるよう、それぞれのライフステージに応じて、切れ目なく支援するための協働機構「京都市障害者就労支援推進会議」(平成21年8月設立)を中心に、「一般就労の促進」「重度障害のある人が就労できる支援体制の充実」「定着支援の充実」「福祉的就労の底上げ」に係る施策を推進しています。

「第7・8期京都市障害福祉計画」(令和6年3月策定)における成果目標

【福祉施設から一般就労への移行者数】

R5年	R6年	目標値(R11年)
411人	524人	440人以上

【就労移行支援事業利用終了者に占める
一般就労へ移行した者の割合が5割以上の事業所】

R6年	目標値(R11年)
80.5%	70.0%以上

【就労定着支援事業所の利用者数】

R5年	R6年	目標値(R11年)
284人	342人	374人以上

【就労定着率が7割以上となる就労定着支援事業所の割合】

R6年	目標値(R11年)
19.2%	25.0%以上

令和7年度 主な取組と予算



1 重度障害者等就労支援特別事業

33,122千円

重度障害のある方等の通勤や職場等での経済活動(就労)を支援するために、当該対象者が就労を継続するうえで必要不可欠な支援(喀痰吸引や体位の変換、安全確保のための見守り、移動の介護等)の障害福祉サービスに相当する費用の助成を行い、重度障害のある方等の就労支援を図ります。

対象者の要件等、事業の詳細は右記の
二次元コードから御確認ください。



事業概要



事例集



2 農福連携による障害者雇用創出の更なる推進

2,500千円

観光局と連携し、福祉施設が農作物等の生産・加工・販売等に携われるよう、農家等とのマッチング等に取り組み、販路開拓や地域の活性化を図る農福連携を推進します。

具体的には、農福連携を希望する福祉施設の開拓及び農家とのマッチングに取り組むことで、農家から福祉施設への委託業務の抽出・新商品の開発等に取り組みます。



「九条ねぎ」の作業業務請負に
係る作業説明の様子



新商品としてヴィーガンに
対応した「小松菜せんべい」
を開発



3 障害者就労支援プロモート事業

11,951千円

2名の「障害者就労支援プロモーター」を配置し、福祉施設職員の支援スキルや障害のある方の就労スキルを高める研修をはじめ、地域企業の人事担当者等を対象とした研修やセミナー、障害者雇用等の検討を進める地域企業の課題に応じた専門家派遣を実施し、障害のある方の雇用の拡大等を目指しています。



【支援者向け】障害者就労支援スキルアップ研修会「就労支援基礎講座～支援のイロハ」



【企業向け】障害者雇用セミナー「株式会社パソナハートフルの障害者雇用の取組」



【利用者向け】障害者就労支援スキルアップ研修会「企業で模擬面接を体験しよう」



4 障害者職場実習・チャレンジ雇用推進事業

2,030千円

将来の企業就職に向けたステップアップとするため、福祉施設と連携し、一般就労を希望する障害のある方を対象に、京都市役所の職場において、職場実習（約2週間）やチャレンジ雇用（会計年度任用職員としての雇用1か月程度）を実施しています。

実習及び雇用の期間中は、実習コーディネーター（ジョブコーチ等）が業務の切り出しや実習評価を行います。



福祉施設職員との打合せの様子

【職場実習】20名（予定）※8月以降、順次実施中

【チャレンジ雇用】2名（予定）※実習経験者の中から選考



5 障害者職場定着支援等推進センター事業

21,446千円

障害のある方の長期就労を支援することを目的に、「京都市障害者職場定着支援等推進センター」（北山ふれあいセンター内）及び本センターの南部分室（京都テルサ内）を設置し、両センターに配置している専門職員が、就労に関する相談、企業訪問等による状況把握、仲間づくり支援（交流サロン）などを行い、障害のある方の自立と社会参加を推進しています。



交流サロン「ぼろぼろ」



お出かけセミナー
(安満遺跡公園)



6 伝福連携担い手育成支援事業

1,150千円

伝統産業分野における障害のある方の職域を拡大し、就労支援・雇用創出を図ることで、技術継承や後継者確保を目指すため、障害のある方の雇用又は市内の福祉施設への業務の発注に意欲がある伝統産業事業者等に対して、専門家の派遣や障害のある方を雇用する際に必要な備品購入等に要する費用の補助を行っています。



「京念珠」の玉通し作業の様子



7 京都市障害者IT教室

2,131千円

障害のある方の就労の促進を図ることを目的として、情報機器やインターネットを活用し、資格取得や就労に向けた知識・技術を取得いただくための講座を開催しています。



8 障害のある方の超短時間雇用促進モデル事業

4,100千円

障害や疾病の特性によって長時間の就労が難しい障害のある方の職域や働き方の選択肢を増やすため、週20時間未満で働くことができる超短時間雇用の普及に取り組み、障害のある方や企業等に対して雇用・定着に向けた支援に取り組んでいます。

※超短時間雇用…東京大学先端科学技術研究センターが提唱する短時間で特定の職務を担当して働くワークスタイルを実現する雇用モデル



超短時間雇用促進
モデル事業HP



9 はあと・フレンズ・プロジェクト推進事業

15,821千円

工賃水準の向上をはじめとする福祉的就労の底上げを図るため、平成23年10月、市内福祉施設の製品（お菓子・雑貨等）を取り扱うセレクトショップ「はあと・フレンズ・ストア」を開設し、製品開発、生産・販売の新しいモデル事業づくりや販路拡大に取り組んでいます。

この取組を通じて、障害のある方の自立と社会参加を促進するとともに、企業や市民に対する障害者福祉への理解促進や将来的な雇用機会の創出を図ります。



取扱製品の一例（左：四つ畳み編みハンドバッグ / 右：クッキー）



はあと・フレンズ・ストア



四条河原町花遊小路商店街内

[営業時間] 11:00～18:30
[定休日] 毎週水曜日、年末年始
[TEL] 075-221-8033



←ストアHP

オンラインショップ→



令和6年度 主な取組の実績

1 重度障害者等就労支援特別事業

支給決定者数:22名

2 農福連携による障害者雇用創出の更なる推進

- ・事業説明会およびマッチング会を開催:6組のマッチングが成立
- ・新商品の開発・販売:2施設

3 障害者就労支援プロモート事業

(I) 京都市障害者就労支援推進会議の開催内容

開催日 R7.3.24	報告事項	京都市障害者就労支援推進会議部会等の取組状況について 京都市障害福祉計画における福祉施設から一般就労への移行について 京都市障害者就労支援推進事業について
	協議事項	「障害のある人の超短時間雇用について」

京都市内における様々な団体・関係機関等と障害のある方の就労支援の効果的な推進を目的に障害者雇用の現状や時勢に適した支援の在り方の議論を行いました。

また、短時間で特定の職務を担当して働くことができる超短時間雇用について、雇用モデルを提唱する東京大学先端科学技術研究センター近藤武夫教授に事例紹介や社会課題について講演いただき、意見交換を実施しました。



就労支援推進会議の様子
(講演を受け意見交換)

【部会の開催実績】

精神障害者就労支援システム検討部会	精神障害者就労支援システム検討 (R6.8.21)	1回開催
巣立ちのネットWORK	総合支援学校生徒の就労職場開拓の検討及び情報交換等 (R6.7.9、9.10、R7.1.21)	3回開催
	第32回雇用フォーラムの開催 (R6.11.6)	1回開催
デュアルシステム推進ネットワーク会議	長期企業実習や職業教育のあり方の検討 (R6.6.11、R7.2.4)	2回開催
障害者職域開発推進部会	令和6年度アドバイザー派遣支援事業等の実施状況について(R7.2.13)	1回開催
はあと・フレンズ・プロジェクト推進協議会	令和6年度事業進捗状況及び令和7年度事業計画確認等(R7.3.19)	1回開催

(2) 障害者就労支援スキルアップ研修、企業見学会及びセミナーの開催

名称	対象	開催回数	参加者数
障害者就労支援スキルアップ研修	就労支援事業所等の利用者及び支援員	8回	延べ156人
企業研修・セミナー	企業の人事担当者等	4回	延べ86人

(3) 障害者雇用促進アドバイザー派遣等支援

申込事業者:5者、利用回数:9回

4 障害者職場実習・チャレンジ雇用推進事業

(1) 職場実習の実施状況

身体障害(1名)、知的障害(11名)、精神障害(8名)のある方20名が市役所の職場で、それぞれ約2週間の職場実習を行いました。

(2) チャレンジ雇用の実施状況

上記の実習を受けた方の中から2名を京都市の会計年度任用職員として1か月採用しました。

実施職場:保健福祉局障害保健福祉推進室

5 障害者職場定着支援等推進センター事業

・相談・支援件数:10,154件、就職後1年経過時点の定着率:86.6%、交流サロン参加人数:延べ495人

6 伝福連携手育成支援事業

- ・京念珠の事業者が補助事業を活用し、2施設への業務委託につながりました。
- ・「京焼・清水焼」の事業者が補助事業を活用し、3施設への業務委託につながりました。
- ・就労継続支援 A型事業所が補助事業を活用し、かつらの制作の毛髪の植え込み作業に係る技術を2名が習得。
- ・就労継続支援 B型事業所が補助事業を活用し、「枠立て」、「整絆」、「経巻き」の技術指導について利用。利用者は技術の習得を継続して目指している。

7 京都市障害者IT教室

・開講回数:340回、受講者数:72名

8 はあと・フレンズ・プロジェクト推進事業

(1) 年間売上金額…8,622千円

(2) 福祉施設を対象とした勉強会や企業等と連携した出店販売等を実施

「はたらきまひよ」

二次元コード



9 京都市障害者就労支援推進会議ウェブサイト「はたらきまひよ」

障害者就労支援プロモート事業における各セミナー・見学会等の開催情報や、

障害者就労支援事業所等の情報を提供しています。URL:<http://www.hatarakimahyo.jp/>

京都市障害者就労支援推進会議通信 第17号 令和7年11月発行

事務局:京都市保健福祉局 障害保健福祉推進室

〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町 488 京都市役所分庁舎4階

TEL 075-222-4161 FAX 075-251-2940